ODIPv3.2.8 修正パッチ(P20170706) リリースノート

2017/07/06

(株) インテリジェント・モデル

この文書は、ODIP[™] Enterprise Solution v3.2.8 に対する修正パッチ (P20170706)、 Build-id:1030208201707060 に関する修正を記述したものです。

ODIPは、(株) インテリジェント・モデル社の登録商標です。

本書に掲載された情報に基づいた行為の結果として発生した損害,利益の損失,経費などについ て,(株)インテリジェント・モデルならびに本書の製作関係者は一切の責任を負いません。 本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部を無断で転載・複製すること は法律で定められた場合を除き,禁止されています。

目 次

Α.	変見	更内容	4
	1.	SQL ログ文字数制限超過時のエラー回避	4
	2.	データセット情報定義のエクスポート/インポート機能追加	4
Β.	適月	用対象	6
С.	パッ	ッチのインストール方法	6
	1.	パッチファイルの内容	6
	1.	ODIP アドミニストレータへのパッチの適用	6
	1.	ODIP オペレーションマネージャへのパッチの適用	7
	2.	ODIP リポジトリマネージャ/プロセスマネージャへのパッチの適用	7
	3.	ODIP リポジトリサーバへのパッチの適用	8
	4.	ODIP トランスフォーマへのパッチの適用	9

A. 変更内容

1. SQL ログ文字数制限超過時のエラー回避

ODIP トランスフォーマ・サーバによるジョブ実行中に、ODIP の SQL ログに出力される SQL 文の文字データの長さが、65,535 バイトを超えると、通信エラーが発生し、ジョブが停止状態 となる問題が修正されました。SQL 文は、制限範囲(65,535 バイト)内の長さに自動的に切り 詰められます。SQL ログには、制限範囲を超える部分は出力されません。また、実行中のジョ ブは通信エラーによってブロックされず、処理を継続するように改定されました。

2. データセット情報定義のエクスポート/インポート機能追加

ODIP プロセスマネージャの、「データセット情報定義」画面に、エクスポート及びインポートのボタンが追加されました(図 1)。

コカデータセットのデフ: ニタソース名	オルト	中間データセットのデフ データソース名	中間データセットのデフォルト データソース名			入力データセットのデフォルト データソース名		
ナンプル出力DB		サンプル出力DB		~	サンプル入力DB ~			
+		スキーマ名			スキーマ名			
ーブルスペース名		テーブルスペース名			<u>.</u>			
ンデックススペース名		インデックススペース名						
] 入出力データセット	青報]		K 69	E	
を データセット名	↓む データソース名	↓を テーブル/ファイル名	タイプ	スキーマ	テーブルスペース名	インデックススペース名	^	
5テ ーブル	(default)	MISE	入力	(default)				
8場元データ	(default)	URIBA_MOTO	入力	(default)				
5場テーブル	(default)	URIBA	出力	(default)	(default)	(default)		
「品カテゴリテーブル	(default)	SYOUHIN_KATEGORI	入力	(default)			1	
5品テーブル	(default)	SYOUHIN	出力	(default)	(default)	(default)		
イズテーブル	(default)	SAIZU	入力	(default)			1	
<u>ピテーブル</u>	(default)	kata	入力	dbo				
きテーブル	(default)	IRO	入力	(default)				
記テーブル	(default)	TANPIN	出力	(default)	(default)	(default)		
- 鈴屠	(default)	NENREISOU	入力	(default)				
自另归	(default)	SEIBETSU	入力	(default)				
	(default)	PAY_METHODS	入力	(default)				
在払方法			3 =	(default)				

図1 データセット情報定義画面

(1) データセット情報定義のエクスポート

データセット情報定義画面で、エクスポートボタンを押すと、ファイル名の入力ダイ

アログが開きます。ファイル名を指定して実行すると、入出力データセット情報画面に 表示されているデータが CSV 形式で出力されます。入出力データセット情報で参照され ているデータソース情報もあわせてファイルに出力されます。

(2) データセット情報定義のインポート

データセット情報定義画面で、インポートボタンを押すと、ファイル名とオプション の入力ダイアログが開きます。オプションでは、インポートファイルの内容で更新する 対象となる項目を選択できます。ファイル名とオプションを指定して実行すると、図 2 のデータセット情報インポート確認画面が表示されます。更新の対象となる項目がアイ コンで表示されますので、内容に誤りがないか確認します。インポートによって、開い ている定義に不具合が生じる場合には、エラーが表示されます。エラーの行にカーソル を合わせると、画面下部にエラーメッセージが表示されます。

内容を確認して 0K を押すと、入出力データセット情報が更新されます。エラーのある 行はインポートされません。データソース名が登録されていない場合は、データソース 情報も追加されます。ここで追加されたデータソース情報には、パスワードが設定され ていませんので、インポート後にデータソース情報を個別に編集する必要があります。 既に登録されているデータソース情報がインポートによって更新されることはありま せん。

- +===	田刀7	ータセットが更新されます。0行	の入出力デー	タセットにエラーがあり	ます。					
1105- つ 41105-	内容を	(音報な)) 注) / いといより。	を押すと、次の	の更新を検索します。						E
电 番号	デー	-タセット名	デ	ータソース名	テーブル/ファイル名	タイプ	スキーマ	テーブルスペース名	インデックススペース名	Ī
1		店テーブル		(default)	MISE	入力	(default)			
2	-	売場元データ		(default)	URIBA MOTO	入力	(default)			
3		売場テーブル		(default)	URIBA	出力	(default)	(default)	(default)	
4	-	商品カテゴリテーブル	a	サンプル入力DB	SYOUHIN_KATEGORI	入力	(default)			-
5	5	商品テーブル	a	サンプル入力DB	SYOUHIN	出力	(default)	(default)	(default)	Î
6	5	サイズテーブル	a	サンプル入力DB	SAIZU	入力	(default)			
7	5	型テーブル	a	サンブル入力DB	kata	入力	dbo			
8	5	色テーブル	a	サンプル入力DB	IRO	入力	(default)			
9	5	単品テーブル	a	サンブル入力DB	TANPIN	出力	(default)	(default)	(default)	
10	5	年鈴屠	a	サンブル入力DB	NENREISOU	入力	(default)			
11		性別		(default)	SEIBETSU	入力	(default)			
12		支払方法		(default)	PAY_METHODS	入力	(default)			
13		日時		(default)	NICHUI	入力	(default)			
14	-	売 トテーブル	0	サンプル出力DB	URIAGE	出力	(default)	(default)	(default)	

図2 データセット情報インポート確認画面

B. 適用対象

本パッチは、以下の製品に適用してください。

- □ ODIP アドミニストレータ v3.2.8
- □ ODIP オペレーションマネージャ v3.2.8
- □ ODIP リポジトリマネージャ/プロセスマネージャ v3.2.8
- □ ODIP リポジトリサーバ v3.2.8
- □ ODIP トランスフォーマ v3.2.8
- C. パッチのインストール方法
- 1. パッチファイルの内容

本パッチには、次のフォルダとファイルが含まれています。

フォルダ		ファイル名
0DIP328_P20170706	ADM	odpc.jar, odptc.jar, odpten.jar
	OPM	odpc.jar, odptc.jar
	RPM	odpc.jar, odppm.jar, odppmhlp.jar, odptc.jar
	RPS	odpc.jar, odptc.jar
	TFM	odpc.jar, odptc.jar, odpten.jar

- 1. ODIP アドミニストレータへのパッチの適用
 - (1) ODIP アドミニストレータを実行中の場合は終了してください。
 - (2) ODIP328_P20170706¥ADM 下のファイルを、ODIP アドミニストレータのインストールデ ィレクトリ (デフォルトでは、"C:¥Program Files¥ODIP¥Administrator"になります)直 下にある "lib"フォルダに上書きコピーしてください。
 - (3) ODIP アドミニストレータを起動し、ヘルプメニューの"ODIP について"を選択してく ださい。次のビルド ID が表示されることをご確認ください。太字は本パッチによる変更 分を示しています。

名称	ビルド ID
Administrator	1030208201606300
Component editor	1030208201606300
Repository client access	1030208201606300
Transformer client access	1030208201606300
Common	1030208201707060
Common user interface	1030208201611220
Common database	1030208201606300
Common model	1030208201611220
Repository interface	1030208201611220
Transformer engine	1030208201707060
Transformer common	1030208201707060
Transformer repository	1030208201606300
Deprecated models	1030208201606300

- 1. ODIP オペレーションマネージャへのパッチの適用
 - (1) ODIP オペレーションマネージャを実行中の場合は終了してください。
 - (2) ODIP328_P20170706¥OPM 下のファイルを, ODIP オペレーションマネージャのインスト ールディレクトリ (デフォルトでは、"C:¥Program Files¥ODIP¥Operation Manager"にな ります) 直下にある "lib" フォルダに上書きコピーしてください。
 - (3) ODIP オペレーションマネージャを起動し、ヘルプメニューの"ODIP について"を選択 してください。次のビルド ID が表示されることをご確認ください。太字は本パッチによ る変更分を示しています。

名称	ビルド ID
Operation manager	1030208201606300
Common	1030208201707060
Common user interface	1030208201611220
Common model	1030208201611220
Common database	1030208201606300
Transformer common	1030208201707060
Transformer repository	1030208201606300

- 2. ODIP リポジトリマネージャ/プロセスマネージャへのパッチの適用
 - (1) ODIP リポジトリマネージャ, ODIP プロセスマネージャを実行中の場合は終了してくだ さい。
 - (2) ODIP328_P20170706¥RPM下のファイルを、ODIPリポジトリマネージャ/プロセスマネージャのインストールディレクトリ(デフォルトでは、"C:¥Program Files¥ODIP¥Repository Manager"になります)直下にある"1ib"フォルダに上書きコピーしてください。

(3) ODIP リポジトリマネージャと ODIP プロセスマネージャを起動し、ヘルプメニューの
 "ODIP について"を選択してください。次のビルド ID が表示されることをご確認ください。太字は本パッチによる変更分を示しています。

(ODIP リポジトリマネージャ)

名称	ビルド ID
Repository manager	1030208201606300
Common	1030208201707060
Common model	1030208201611220
Common user interface	1030208201611220
Repository interface	1030208201611220
Deprecated models	1030208201606300

(ODIP プロセスマネージャ)

名称	ビルド ID
Process manager	1030208201707060
Common	1030208201707060
Common model	1030208201611220
Common user interface	1030208201611220
Common database	1030208201606300
Repository interface	1030208201611220
Transformer common	1030208201707060
Transformer repository	1030208201606300
Deprecated models	1030208201606300

- 3. ODIP リポジトリサーバへのパッチの適用
 - (1) ODIP リポジトリサーバを実行中の場合は終了してください。
 - (2) 0DIP328_P20170706¥RPS 下のファイルを、0DIP リポジトリサーバのインストールディレクトリ(デフォルトでは、"C:¥Program Files¥0DIP¥Repository Server"になります)
 直下にある"1ib"フォルダに上書きコピーしてください。
 - (3) ODIP リポジトリサーバを起動してください。
 - (4) ODIP リポジトリマネージャを起動し、ツールメニューの "ORMS サーバ情報"を選択してください。次のビルド ID が表示されることをご確認ください。太字は本パッチによる変更分を示しています。

名称	ビルド ID
Repository server	1030208201611220
Common	1030208201707060
Common model	1030208201611220
Common user interface	1030208201611220
Repository interface	1030208201611220
Deprecated models	1030208201606300

- 4. ODIP トランスフォーマへのパッチの適用
 - (1) ODIP トランスフォーマ・サーバを実行中の場合は、"stopserver.sh"コマンドを実行 して、トランスフォーマ・サーバを停止してください。
 - (2) 0DIP328_P20170706¥TFM 下のファイルを, 0DIP トランスフォーマのインストールディ レクトリ直下にある"1ib"フォルダに上書きコピーしてください。
 - (3) ODIPトランスフォーマ・サーバを起動してくだい。"showserver.sh-iv"コマンドを 実行して、下表のビルド ID が表示されることをご確認ください。これ以外のライブラリ については、従来のビルド ID が表示されます。太字は本パッチによる変更分を示してい ます。

名称	ビルド ID
Common	1030208201707060
Common model	1030208201611220
Common database	1030208201606300
Transformer common	1030208201707060
Transformer repository	1030208201606300
Transformer server	1030208201611220
Transformer engine	1030208201707060
Transformer Client Commands	1030208201611220

以 上